

## 会員卓話 庄司岳史君

皆様、こんにちは。  
ますぶちデンタルクリニックの庄司岳史です。  
ところでGWは皆様いかが過ごされましたか？私は、1泊2日の弾丸男旅で、高校時代の友人と沖縄へ行ってきました。高校時代からの友人となると、かれこれ20年以上の付き合いとなり、高校時代の寮生活で同じ釜の飯を食べた時間を振り返りながら、沖縄の海で時間をゆったりと満喫しました。

本日は、会員講話ということで、昨今の歯科のトレンドについてお話ししたいと思います。

一時、国民皆歯科検診というワードが、前岸田政権の際出てきたの覚えていらっしゃるでしょうか？端的に言うと、国民皆歯科検診は、国民が定期的に歯科医院で口腔内の状態をチェックして、早期にトラブルを発見・治療できる仕組みとなります。これは、令和4年(2022年)6月に閣議決定した経済財政運営の指針となる「骨太の方針」に「国民皆歯科健診」を盛り込み、健康の増進・健康寿命の延伸、医療費削減などを目的として、今年2025年の導入を目標に具体的な枠組みや運用方法などについて政府は現在検討を重ねております。元より、国の保険制度は、疾病に対して治療費がかかるわけですが、今回の取り組みで疾病の予防の段階で国の保険制度に割り込ませ、国が疾病予防に本腰を入れるということは、いかに歯科の分野、すなわちお口の健康が全身の健康増進に関わるのか注目されるようになったことを意味します。すでに皆様もご存じかもしれませんが、歯周病の病原菌は糖尿病や認知症など全身疾患との関連が示されており、歯周病の病原菌は口に留まらず、血管を通して様々な悪さを及ぼします。そのためお口の健康と全身の健康の相関関係が大きく注目されており、高齢者の人口増加にともなう医療や福祉の問題への対応が喫緊の課題であることから、国民皆歯科健診はこれらの問題の抜本的な解決策としても期待されております。

日本の場合、国の保険制度を軸に我々医療に携わるものは、その方向性が決まっており、振り返ってみると私の父が開業した40年程前は、むし歯になる方が多く、歯科大が新設されるなどその都度重要な対策を国は進めてきました。その結果歯科医師も増え、治療を受けやすい環境ができ、歯科医院も増加しました。今や2022年のデータでは、日本は世界第2位の歯科医師の数になっております。現在は歯磨き粉の9割近くはフッ化物含んでいたり、国民のむし歯に対しての知識も増え、環境的にもむし歯の罹患率は減りました。

また、歯を失うもう一つの疾患である歯周病は、一昔前は歯槽膿漏と言われ、全世界で一番罹患率の多い病気となります。歯周病はその名の通り、歯を支えている骨や歯茎の病気であり、むし歯とは違った種類の細菌感染によって、悪化します。歯周病が、自覚症状が少ないため、悪化した歯に動揺が



ある場合、かみ合わせや食いしばりが加わることによって、歯が抜けてしまう可能性があります。歯が抜けた場合、それを代替え

する治療が必要となりますが、実際はご自身の歯に勝るものはありません。

むし歯も歯周病も細菌による感染症で、二つの病気の共通点は生活習慣病です。

つまり、生活習慣を改善すれば、病気自体を予防できることを意味します。勿論、遺伝的な要因、環境的な要因で罹患する確率は変わりますが、明白に病気になるリスクを下げることでできます。

一昨年より国が導入を始めたマイナンバー制度も歯科と全身との関係すなわち医科との連携が重要とされ、現在は医療機関同士で連携しやすいシステム構築に一役買っています。まさに今、歯科の分野が治療完結型から予防管理型の時代へシフトチェンジし、QOLの向上を目指した形となりつつあります。歯は、食べるだけでなく、見た目や身体を支える器官として、とても重要です。

話は変わりますが、私は歯科医師になって、18年近く経ちます。今回沖縄に友人と共に旅行して何気なく一番難しい治療は何かと話題になりました。小児歯科、矯正歯科、口腔外科と呼ばれる専門的分野も挙げられますし、また、これまで歯科医師が長年向かい合ってきたむし歯や歯周病治療も挙げられます。私自身は総合的に満遍なく、大学卒業後もこれまで学んでアップデートしているつもりですが、生活習慣病の治療、やはり人をいい方向へ導くようなモチベーションを上げる事はとても難しいと思います。単純に習慣され変えることができれば、治るまたは予防できる生活習慣病ですが、シンプルにいかないことは往々にしてあります。これは、どの分野でも言える事ですが、相手のモチベーションを上げ、ポジションを維持し、継続する事は難しく、ポジションを維持をサポートするためには、信頼関係の構築や必要な知識が重要になるか思います。

最後まとめとなりますが、歯科の分野においては、お口の健康からQOLの向上に繋がるよう、国の方針が治療から予防へ本格的に変わりつつあります。

ロータリーの会員の皆様は、健康にも大変気を配られていると思いますが、これからも元気に地域のために活動して頂くためにも、ご自身に寄り添うかかりつけ医を持って、歯も大事にしていだけたらと思います。

次回の例会 [ 2737 th ] 2025.5.22

ヤマガタアスリートラボ

代表理事 池田めぐみ氏

## 《出席報告》

会員数 47名 出席者数 20名 出席率 42.55 %  
前回修正47名 出席者数 47名 出席率 100.0 %

Rotary

Rotary International District 2800  
2024~2025  
TAKAHATA ROTARY CLUB

5月15日

会長 金子 良弘 幹事 梅津 陽一郎 例会 毎週木曜 12:30~13:30 旅館 エビスヤ 事務局 山形県高畠町高畠 911-2-2F tel 0238-52-5440 fax 52-5444

本日の例会 [ 2736 th ] 2025.5.15

会員卓話 庄司 薫 君

前回の例会 [ 2735 th ] 2025.5.8

会員卓話 庄司 岳史 君

- ・点鐘12時30分 金子 良弘 会長
- ・ロータリーソング 奉仕の理想
- ・ロータリーの目的唱和 青木 道春 君
- ・ソングリーダー 木村 健彦 君
- ・S A A 木村 健彦 君

会長あいさつ

金子 良弘 会長

みなさん、こんにちは。

本日は庄司岳史君による会員卓話がございます。どのようなお話が伺えるのか、たいへん楽しみにしております。後ほどよろしくお願いいたします。

続きまして、本日まで来訪いただきましたロータリアンをご紹介します。上山ロータリークラブよりお越しの枝松祐子君です。枝松君は、次年度の第5グループガバナー補佐を務められる方で私も地区の活動を通してご一緒させていただくことになります。

ご指導を仰ぐ機会が多くなるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。後ほど、「会長の時間」でご挨拶を頂戴したいと思っております。

さて、ロータリーの目的、今回はその第4項目となります。

第4：奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。この項目の意味するところは、ロータリアン同士が政治、宗教、歴史、言語、肌の色といったあらゆる垣根を越えて、互いに協力しながら国際理解、親善、そして平和を進めていくことだと考えられます。

かつては、社会奉仕の中にインターアクト、ローターアクト、そしてRAYLAが含まれており、また青少年交換プログラムは国際奉仕に分類されていました。しかし現在では、これらが一つにまとめられ、「青少年奉仕」という第5の奉仕部門として新たに位置付けられています。

そう考えると、将来的にはこの第5の奉仕に対応

した「ロータリーの目的 第5項」が追加される日が来るかもしれません。

## 《幹事報告》

梅津 陽一郎 幹事

- ・シングルトン高校来町記念スライド上映会&懇親会  
日時：5月25日(日) PM3:00 懇親会：PM5:00  
会場：高畠町交流プラザ2F 研修室  
懇親会費：2,000円

## 《委員会報告》

- 親睦活動委員会  
山村 義美 委員長

## ・最終例会のご案内

日時：6月19日(木) ~ 20日(金)  
会場：磐梯熱海温泉 ホテル 華の湯  
登録料：10,000円

- クラブ改革プロジェクトチーム  
小平 和宏 委員長

## ・特別講演会のご案内

「田中久夫 先生」講演会

日時：6月16日(月) PM 6:00~  
会場：エビスヤ  
登録料：4,000円

## スマイルBOX

誕生祝い

金子 良弘 君

結婚祝い

高梨 正章 君・木村 健彦 君  
山村 義美 君

- ・観桜会の二次会に当店をご利用いただきありがとうございました。

青木 清子 君

- ・例会に遅れソングをSAAに代行していただきました。感謝します。

加藤由香里 君

- ・高畠クラブへ MU 記念 お世話になります。

上山RC 枝松 祐子 君